

山口県立萩美術館・浦上記念館は、萩の実業家の浦上敏朗氏（1926－）の寄贈を契機として創設したもので、彼の広範なコレクションを基にして、さらに浮世絵、東洋陶磁、陶芸、工芸作品を収集して一般に公開展示している。美術館は2つの建物からなっており、本館は1996年に建設され、2010年に陶芸館が増設された。

本館は世界的に有名な日本人建築デザイナーで広島平和記念公園を設計し、1964年の東京オリンピック時に国立競技場を設計した丹下健三（1913－2006）によって設計された。陶芸館は萩焼をはじめとする、芸術品が展示されている。